

(1) プログラムの特色と使い方



体験活動参加型のプログラム 話して・聞いて・発見！

「みんなで子育てⅣ」(次世代編)は、保護者向け家庭教育プログラム「みんなで子育て」の続編で、まもなく大人になる中・高校生を対象としたプログラムです。

本プログラムは、大人になった時、親になった時に必要な「自立」「コミュニケーション」「自己コントロール」等の力を育む15のプログラムから成り、指導案とワークシート・資料で構成しています。

また、体験活動参加型のプログラムには、すごろくやグループ作業、ロールプレイ、ディベート等、仲間と一緒に活動したり話し合ったりすることを多く取り入れています。作業や交流の場では、お互いの思いや考え方を知ることができます。また、ロールプレイ等では、自分ではない「親」の立場に立つことで、親の考えや気持ちに触れたり、大人として、親としての自分を考えたりする場を設けています。

指導案は、プログラムの基本的な展開例を示していますので、ねらいや対象集団、人数、時間等に応じて、アレンジしてご活用ください。アイスブレイクについても、対象集団の実態に合わせて取り入れていただけるとよいと思います。指導案には、それぞれのプログラムを通して学んで欲しいことを<親になった時に活かしてほしいこと>として記載しています。プログラムの終わりに、生徒に伝えていただけたら幸いです。

このプログラムを通して、生徒同士がよりよい関係を築き、自分の生き方や自立について考えることを願っています。

(2) プログラムの内容



No.	内容	項目	方法
1	自己紹介をしよう	コミュニケーション	すぐろく
2	仲間と協力しよう	協力	作業・ワーク
3	時間の使い方と睡眠	生活習慣	ワーク
4	自分を知る	自己認知	ワーク
5	自分の自立度をチェックしよう	自立	ワーク
6	中・高校生のハローワーク	進路選択・自立	ワーク
7	ストレス軽減法を学ぼう	自己認知	ワーク
8	情報モラルについて考えよう もしかしたら、あなた、依存症？	情報モラル	ディベート・ワーク
9	今日からあなたも聴き上手	コミュニケーション	ロールプレイ・ワーク
10	結婚相手の条件	生き方	オークション・ワーク
11	受け継がれてきたいのち	命の大切さ	ワーク
12	にこにこ！ぷんぷん！！ 自分のあゆみ&親子関係	親子関係	ワーク
13	赤ちゃんとの生活について	親の役割	ワーク
14	乳幼児とのふれあい	親子の絆	ワーク
15	社会と向き合う ～地域のオタスケに感謝して～	地域のために	ワーク



(3) 3つの約束



◇始める前に、参加者全員で必ず確認しましょう。

参加

作業や話し合いに積極的に参加しましょう。

ただし、参加者は全員平等ですから、全員が参加できるように心を配りましょう。

尊重

他の人の意見を否定したり、自分の考えを押し付けたりせず、お互いの意見や感じ方を尊重しましょう。

話したくないことはパスしてもかまいません。

思考

活動や体験を楽しむだけでなく、感じたことや気付いたことを話し合い、自分の生活に結び付けて考えましょう。



(4) プログラムの活用場面



ロングホームルーム

オリエンテーション

修学旅行や研修旅行などの
集団宿泊研修

部活動のミーティング

特別活動



(5) アイスブレイク



アイスブレイクとは、初対面の人々の緊張を解きほぐすことです。会を始める前に、雰囲気や和ませたり、グループ分けをしたり、自己紹介をしたりする際に活用しましょう。

①となりのとなり

- ・ スタートの方は、自分の名前を言う。(～です。)
- ・ 次の人はスタートの方の名前を言ってから自己紹介する。(～さんのとなりの～です。)
- ・ その次の人は、前に自己紹介した方の名前を言ってから自己紹介する。(～さんのとなりの、～さんのとなりの～です。)
- ・ どんどん長くなっていくが、スタートの方は最後に全員の名前を言う。(これは最後まで秘密にしておく！)

②しりとり自己紹介

- ・ 始めに自己紹介する人を決めて、その右となりの方の名前の最後の一字を取り、その言葉から始まる自分を説明するような言葉をつけて自己紹介する。
＜例＞やぶたたるうさんなら
「うまれも育ちも岐阜市のぎふはなこです。」
「こどもが6人、子たくさん母さんのははのかがみです。」……

③他己紹介（10人程度までのグループ）

- ・ 2人ペアで相互にインタビューする。
- ・ インタビューした人をグループの中で紹介する。



④「実は・・・」自己紹介（10人程度までのグループ）

- ・ 順番に自己紹介をする。
- ・ 自分の趣味、特技、好きなもの等について3つ考え、「実は、〇〇です。」に当てはめて話す。

⑤仲間集め（20人以上のグループ）

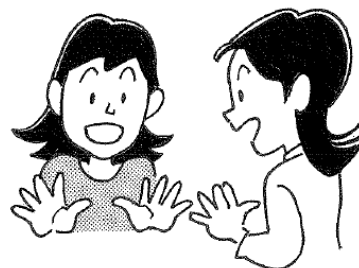
- ・ 言葉の数だけ仲間を集める。(例)「いちご」3人
- ・ 指定された条件に合わせて仲間を集める。(例)誕生月、血液型、数 など

⑥キャッチ（何人でも）

- ・ 全員左手で筒を作り、左隣の人の前にその手をもっていく。
- ・ 次に右手の人差し指を右隣の人で作った筒の中へ入れる。
- ・ 進行役の「キャッチ」という合図で、左手は左隣の人の人差し指をつかみ、右手は右隣の人につかまれないように逃げる。
（「キャット」や「キャップ」など似た言葉を入れて盛り上げましょう！）

⑦バースデーチェーン（20人程度までのグループ）

- ・ 誕生日の早い順に並び。
- ・ ルールはただ一つ。「絶対に話さない！」
（指や口の動きでヒントを出してもいいですよ。）
- ・ 並び終わったら、順に名前と誕生日を言う。
※誕生日だけでなく、起床時刻、通学時間など、



⑧ぎゅっとリレー（10人程度までのグループ）

- ・ スタートの人を決めて、「よーいどん。」の合図で右手（左手）をぎゅっと握っていく。
- ・ 握られた人はとなりの人の手を握り、1周したらゴール。
- ・ タイムを計ったり、チーム対戦にしたりすると盛り上がる！



⑨絵しりとり（10人程度までのグループ）

- ・ ペンと大きめの紙を準備する。
- ・ 絵を描いてしりとりをする。
- ・ ルールはただ一つ。「何を描いたのか絶対に話さない！」
- ・ 終わったら何を描いたかを順番に言う。

⑩後出しじゃんけん（何人でも）

- ・ しばらく、進行役と普通のじゃんけんをして、勝った回数を競う。
- ・ 一旦止めて、後出しじゃんけん切り替え、負けた回数を競う。

⑪共通点さがし（2～3人）

- ・ 2人ペアで相互にインタビューしながら、共通点を探す。
- ・ 好きな色や食べ物、血液型等、共通点をできるだけ多く探す。

⑫共通点グランドスラム（8人程度までのグループ）

- ・ みんなで話し合いながら共通点を探し、用紙に記入する。
- ・ 全ての人数欄がうめられたらグランドスラム達成。

1人（ ）
2人（ ）
3人（ ）
4人（ ）
...

⑬ナンバーワン（10人程度までのグループ）

- ・ 自分の得意なことを話し、全員が何らかのナンバーワンになれるものを探す。

⑭木の中のリス（何人でも）

- ・ 3人組を作り、二人が両手をつなく。これが「木」となる。残りの一人が「リス」になって、木の中に入る。
- ・ 3人組になれなかった人が「オオカミ」になる。
- ・ リーダーの「オオカミが来た！」の合図で「リス」は、他の木に移動する。この間「木」は動いてはいけない。
- ・ オオカミの人は、「リス」が移動している間に、「木」に入り、「リス」に変身する。
- ・ 入る「木」のなくなった「リス」が「オオカミ」になる。
- ・ 次にリーダーの「木こりが来た！」の合図があったら、木の二人は手をつないで移動して、新しい「リス」を中に入れる。この間「リス」は動いてはいけない。「嵐だ！」の合図があったら、3人をくずして、新しく3人組をつくる。
- ・ これをくり返して行う。

⑮進化じゃんけん（20人程度までのグループ）

- ・ 最初は全員「たまご」になり、しゃがんで相手を探してじゃんけんをする。
- ・ 勝った人は「ひよこ」に進化し、「ピョピョ」と言いながら「ひよこ」とじゃんけんをする。（負けた人は、「たまご」のまま「たまご」とじゃんけんをする。）
- ・ 勝った人は「にわとり」に進化し、「コケコケ」と言いながら「にわとり」とじゃんけんをする。（負けた人は、「ひよこ」のまま「ひよこ」とじゃんけんをする。）
- ・ 勝った人は「人間」に進化する。「人間」に進化できた人から順番に並ぶ。（負けた人は、「にわとり」のまま「にわとり」とじゃんけんをする。「人間」に進化できるまで続ける。）

他のアイスブレイクも『みんなで子育てⅡ』家庭教育プログラム（乳幼児期編）」と『みんなで子育てⅢ』家庭教育プログラム（小・中学校編）」で紹介中

岐阜県ホームページ

みんなで子育てⅡ・みんなで子育てⅢ

検索

